

## 災害ボランティア活動報告(No.47)

### 活動場所:宮城県亶理郡山元町作田山(被災農家:斎藤様の農地)

今回は、バス参加37名、車での参加1名の総勢38名です。

12月25日、金曜日の夜発でした。クリスマスの夜からバスで東北の被災地へ。千葉の四街道から西船橋、東京の錦糸町経由で伺いましたが、錦糸町ではクリスマスだけあり、スカイツリーが緑色に輝き巨大なクリスマスツリーとしてとても綺麗でした。

今回は、クリスマス発ということもあり前回のように募集をかけても集まらないのではないかと心配しましたが、38名でホッとしました。前回も来て頂いた四国愛媛の寺川さん、北九州から来て下さった高校生の尾崎さん、遠くからは外国のミャンマーから佐藤さんなど、全国から、また外国からも来て頂きました。

佐藤さんは息子の森如(しんじょ)君はお父さんの国ミャンマーに住んでおり、開発途上国で日本のボランティアの方々が沢山来ており、その日本へボランティアに来るのが良い経験だと話しておられました。そういうお話を伺うと、ボラバスを運営して良かったとつくづく思います。定期的でなく人が集まるなら大幅な赤字でなければ続けたいと思います。



※左:ボラバスとクリスマスツリーのようなスカイツリー。右上:今回片付けるナス畑。右下:片付け終わったナス畑。今日中に出来るかと思ったのですが、高校生がムードメーカーになり、見る見る内に片付いてしまいました。感謝です。

**活動内容:**今回は、なす畑の後片付けでした。枯れたナスの枝は1メートル2～30センチは有るでしょうか木の小枝のようです。杭を抜き小枝を引っっこ抜き、貼ってある黒いビニールをはぎ取ります。なかなかの重労働ですが、小さなお子さん達も頑張りました。ニコニコしながら頑張る姿はほほえましい限りです。高校生の若い方は、みんなで声を掛け合いながら『競争しようよ。』と頑張ってくれました。こういう姿を見ると暗い話題が多いですが、これからの未来は明るく感じられます。

**参加者:**メンバー（木下史典、森本次郎、溝手文子、本田 健）、一般参加、ネット参加のバス37名。車での参加（榎戸孝行）1名、合計38名。



※集合写真：今回参加して下さった皆さんです。（作業現場にて斎藤さんご夫妻と。）



※左：小さなお子さん頑張りました。右：ミャンマーから来てくれた佐藤君（真ん中）



※左：高校生を中心とした若い方々がムードメーカーとして頑張ってくれました。  
 右：小さいお子さんへサンタさんに扮した森本さん（副理事長）から野菜のプレゼント。  
 笑顔が可愛いですね、重労働の作業が癒やされました。



※左：森本サンタからクリスマスですので斎藤さん夫婦へプレゼントを渡しました。  
 右：いつものように斎藤さんから野菜のお土産を全員分頂きました。ネギやチジミホウレンソウ、パプリカです。採れたてのお野菜は本当にそのままでも美味しいです。感謝。

※ボラバスの定期運行はこれで終わりますが、被災者の斎藤さんご夫婦の災害に負けない強さ、心の温かさに触れ、ボランティアをしている私たちが逆に救われた気分です。斎藤さんも、東日本大震災から来年3月で5年がたち仮設住宅をやっと出られそうだと聞きました。一応、仮設住宅は終了する予定だったそうですが、生活が困窮しているご高齢の方などのために町もとりあえず続けるようです。

5年が経とうとしておりますが、まだまだ生活再建は大変です。斎藤さんも人から借りた畑や田圃ですので、TPPなどで農家は米価が下がったりとこれからも大変です。ボラバスを受け入れて下さり、本当に有り難うございました。これからも心の交流などお付き合いを続けたいと思います。  
 ご参加なされた皆様有り難うございました。